

No.	質問内容	回答
1	<p>セミナー②、WS①は同日に開催するのか。</p>	<p>セミナー②、WS①の開催については、同日・別日程の、どちらでも結構です。仕様書P2に記載する目的、対象、KPIを踏まえて、最も効果的な方法を提案してください。</p>
2	<p>セミナー③「ハンズオン支援の事例等から共創のモデルケースを紹介し…」とあるが、これは、『平成31年度大阪共創ビジネスプログラム』のハンズオン支援企業の事例紹介と考えてよいか。前年度支援企業の事例紹介も必要か。</p> <p>また、新規事業創出という性質上、支援企業の秘密保持の観点等から、事例紹介ができない場合も想定されるが、その点はどうか。</p>	<p>セミナー③については、事業者に対して、本事業のハンズオン支援の魅力を発信し、次年度事業への参加を促す狙いがあります。事例紹介については、基本的には、平成31年度支援企業としますが、状況に応じて、平成30年度支援企業や支援企業以外のケースも視野に入れていただいて結構です。(平成30年度支援企業の情報については、本府から提供します。)</p>
3	<p>個別ハンズオン支援のKPI(3月末の到達点)について、「協業に向けた合意形成 3件」とあるが、これは支援企業と協業先で、書面により契約を結ぶ必要があるのか。</p>	<p>個別ハンズオン支援のKPI(3月末の到達点)としては、契約の締結は必須とはしませんが、双方が事業提携について意思決定をしてください。</p>
4	<p>支援対象となる中小企業のイメージを教えてください。</p>	<p>支援対象となる中小企業は、仕様書記載のとおり、中小企業等経営強化法(平成11年3月31日法律第18号)第2条に基づく中小企業者ですが、その中でも、グローバル展開を目指した競争力の高い事業の創出が期待できるポテンシャルを有する中小企業に、ぜひご参加いただきたいと考えています。</p>

No.	質問内容	回答
5	<p>様式2について、「参考となる資料(補足資料)を適宜添付」とあるが、枚数等の制約はあるのか。</p>	<p>制約はありません。様式2について、別添資料については、提案書のように印刷の向き(縦横)、文字の大きさ等の指定もありません。 ただし、プレゼンテーションは資料に基づき行っていただきますので、説明が時間内に完結できるようご注意ください。</p>
6	<p>効果的な募集や告知の方法についての提案内容については、手段の概要やイメージ図のほかに、サンプルなどの提示が必要か。</p>	<p>特に必要ありません。 WEB、チラシ、SNSなどの方法手段のほか、それらの媒体をどのように拡散(チラシの場合、配布対象や配布方法、配布枚数)させるのか、また、WEBやSNSでは、どのような層のどれくらいの方に見てもらえるのかといった具体的な情報を提示した上で、効果を示して下さい。</p>
7	<p>法人登記簿謄本と納税証明書は原本を提出するのか。コピーでは不可か。</p>	<p>原本を提出してください。</p>
8	<p>財務諸表として、「株主資本等変動計算書」は作成していない場合、①貸借対照表②損益計算書(収支計算書)を提出すればよいか。</p>	<p>NPO法人など、組織として株式を発行していない場合は、「株主資本等変動計算書」の作成は不要です。①貸借対照表②損益計算書(収支計算書)のみご提出ください。</p>

No.	質問内容	回答
9	集客人数、成果などについて、万が一未達成の場合に、ペナルティなどはあるのか。	正当な理由なく、契約どおりに履行できなかった場合には、契約書にしたがって、損害賠償や遅延料が発生することがあります。 契約書どおりに履行できないことが明らかになった場合は、遅滞なく大阪府に報告してください。
10	選定委員会で、各社に割り当てられる時間はどれくらいか。	割り当て時間として、概ね1社当たり30分と想定しています。(15分程度のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答。) なお、集合時間については、全体の応募件数によりスケジュールを調整するため、応募者に別途通知いたします。